

令和6年度 第3回 中能登町立鹿島小学校 学校運営協議会 会議録

【日 時】	令和7年2月21日（金）11:00～11:50
【会 場】	中能登町立鹿島小学校 校長室
【出席者】	飯田 一則、大湯 章吉、鍛冶 善正、清水 ひとみ 学校長 谷口 雅亮（50音順） 学校代表者：井田 朋樹 教頭
【欠席者】	池島 正芳、福井 清久 学校教育課：高木担当課長 生涯学習課：平岡
【事務局】	生涯学習課：大野主査 山口
【次回予定】	未定

【進行】鹿島小学校：井田教頭

1. 開会あいさつ

《井田教頭》

お足元の悪いなかお集まりいただき、ありがとうございます。よろしくお願いします。

2. 協議

①コミュニティ・スクール成果報告 ～大野主査より、資料を基に説明～

- 地域サポーターの皆さんより、「今後も子どもたちとの繋がりを持っていきたい！」とのお声をいただいている。

<意見等>

なし。

②食育に向けた活動報告 ～久江寄席について、大湯委員より報告～

- 子どもたちが授業で作ったさつまいもと、イノシシの肉などを使い、イノシシ汁・豚汁・おにぎりを一緒に作り、食事をした。久江地区だけではなく、東馬場地区や小田中地区からも参加があった。みんなで食事をして、寄席を習い、寄席を披露するという企画で、久江地区区民や、フランスから移住した方にも参加いただき、交流を深めることができた。はじめは、「イノシシ鍋は嫌だ！」と、毛嫌いする人も多かったが、実際には、豚汁より人気があった。来年以降も食育と寄席を併せた企画を実施予定だが、規模については、人数を制限しながらも、少し輪を広げていきたい。

<意見等>

- 参加は小学生のみか？

⇒中学生も参加 OK としているが、久江地区6人、東馬場地区・小田中地区も入れて、計8人程の小学生が参加していた。保育園児でも、意向があれば参加してもらっても良い。子どもたちは20名程度まで参加 OK としたい。

- 原則お膳立てはしない。基本的には子どもたちで調理してもらい、危ない時だけ大人が注意するようにしている。野菜も持ち寄りで、自分たちで持ってきたものを使っている。無理すると長続きしないので、「みんなでできるものを」と考えている。

⇒嫌いなものを食べれるようになるのはとても良いこと。

⇒今後も継続して実施していきたい。

③令和7年度に向けた学校運営協議会としての方向性の確認

- 学校としては、来年度、「体力向上」にテーマを絞って目標を掲げていきたい。

今年度はPTCA活動で、親子で楽しむスポーツ活動を取り入れることができた。来年度については、「縄跳びを1年間継続してやってみよう！」という、学校としてコミットできる案も出ている。機会を増やすことではなく、中身の質をどう上げていくか、全体的にどう広げていくか、ということを考えながら、今実施している活動をより充実させていく。

⇒子どもたちは褒めてくれる人がいれば頑張れる。見守ってくれる人がいるだけで、マラソンが苦手な子のモチベーションにも繋がるのではないか。マラソン大会の沿道の応援など、みんなが頑張れる仕組みを考えていけたら良い。

⇒マラソン大会は全体的には盛り上がるが、苦手な子もいるので、学校として対策を練っていく必要がある。

- 子どもたちには、少し前に進めたということを評価してあげたり、人と競い合うのではなく、指標を掲げ、自分なりの成長の仕方を見つけることが大事。

⇒ここまできたら教頭先生からシルバーのシール、ここまできたら校長先生からゴールドのシールをもらえるという取り組みも実施している。

⇒良い取り組みなので、継続して実施してほしい。子どもは褒められて伸びる。少しずつ目標値を上げてあげることが大事。学校でもできる、家でもできる、ということであれば、継続できるのではないか。続けるとなると、楽しさも必要。

⇒6年生を送る会の発表では、発表している学年だけでなく、周りの人たちも一緒に踊ったりしているのが良かったと感じた。

- 体力向上をベースに、食育の方も、地域の方と協力しながら、併せて進めて行く。

④学校経営報告と学校評価について

委員にて評価実施。

4. 清水学校長より今年度の総括

鹿島小に赴任して初めて、コミュニティ・スクールというものを知った。

これまで以上に、学校と地域が近くなったと感じているが、「更に！」という気持ちを持ち続けて進めて行きたい。